

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラスー江教室				公表日	2025年 2月 28日付
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		東京都の決まりに沿って運営している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		東京都の決まりに沿って運営している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	物件の構造上フルフラットとまではいかないものの、極力教室内の段差は少なくしている。車いす等が必要な利用者がいないため、現状特に問題ない。	物件自体が長方形の為、工夫が難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者が帰った後に清掃を行っている。また、感染症流行時には、定期的に換気やテーブル等の拭き掃除もを行っている。また、活動に合わせてトレーニングルームを広く活用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	必要に応じて、相談室や倉庫を利用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々の目標、振り返りは日報で確認を行うことができ、日々話し合いを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1度アンケートを実施し、改善につなげるよう話し合いを行っている。いただいた意見は職員で周知し、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングの際に、職員からの意見を確認し、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者による外部評価は行っていないが、本部職員の見回りがあり、ご指導いただいている。また他教室間での行き来があり、意見交換や改善を行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月内部研修を行っている。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	通信にて公表し、課題のプリントを持ち帰ってもらうようにしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントは都度行い、支援について話し合い、計画の見直しなどを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		利用者一人ひとりに合った計画を、職員各々が意見を出し合い、最善のサポートができるようミーティングを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎日のミーティングで利用者の確認を行い、計画に沿ったサポートを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		意志による診断結果や標準化されたアセスメントツール（検査）の結果を活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		アセスメントは都度行い、利用者に必要な支援について話し合い、計画の見直しなどを行っている。また、スモールステップで課題をクリアしていけるような内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		イベントのみならず、日々のトレーニング内容など、全員で相談しながら行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節を踏まえたイベントを取り入れたり、ソーシャルスキルのトレーニングに取り組んでいる。個々の目標を踏まえてプログラムを組み立てている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	密にならない工夫をしながら、グループ、個々のトレーニングを考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日ミーティングを行い、当日の利用者に合った支援ができるよう確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		5	支援終了後の確認は出来ていないが、次の日の申し送りの際に、口頭で情報共有をしている。	打ち合わせはしていないが、記録もしくは口頭で気付きを共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日の利用者の様子をその日のうちに記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		日々のアセスメントと、半年を基準とした保護者との面談により計画の見直しを図っている。また、月毎に「今月の振り返り」を作成、保護者、相談支援事業所にお渡ししている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	工作やお菓子作りなどの創作イベント活動や、外出イベント、余暇活動などを行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		集団レクや自由時間等を使い、利用者間で自発的にやりたい遊びや作業を選択できるように支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議が行われる際は、責任者やトレーニング担当者が出席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校のホームページや保護者、移動支援員と確認をし、利用者が安全に来所出来るよう調整をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	保護者の情報提供等で、アセスメントを活用し理解を深めている。また、相談支援事業所を通じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	相談支援事業所を通じて連絡を取り合い、情報を共有、提供等している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	必要な外部研修があれば受け、受けたスタッフから全員に内容を伝えるようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	自らを「障害者」と認識していない児童が多いため、現実難しい。また、保護者も「知られたくない」という方も多い。	要望等あれば答えられるようにしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	江戸川区放デイ連絡会に参加。他事業所の現状や課題など聞く事が出来ている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳への記入や保護者送迎時にその日の様子をお伝えしている。また「今月の振り返り」にてお伝えをしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	お迎えの際や連絡帳にてその日の様子をお伝えしている。また面談時は責任者だけでなく関りの深い職員も同席している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っている。変更等あれば都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントは都度行い、支援について話し合いを行っている。定期的に計画の見直しなどを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		内容説明を行い、計画書に不備がないことを確認していただき同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		お迎え時に相談に乗ることがある。困りごとなど面談が必要な場合は随時行っている。定期的な面談の席でも相談に乗っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	同じ学校に通っているということを知られたくないという保護者もあり開催は難しいが、今後保護者が参加できるイベント等を考えていきたい。また父母の会もない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		事故発生時は速やかに共有し、再発防止を心掛けている。またポスター掲示もしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		各教室にて月に一度ハッピーテラス通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		教室ごとに個人情報の管理に努め、利用者との契約時に個人情報についての同意書にサインをいただいている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		情報については口頭ではなく、紙面で伝えるようにしている。意思の疎通が難しい子供については、保護者に直接話そうようにしている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	放課後等デイサービス合同説明会に参加しており広く活動を知っていただけるようにしている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	契約時に策定している事を説明し、実際の訓練時には、連絡帳に記録している。また年度ごとに緊急連絡カードを全利用者に提出していただいている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定している。避難訓練は年2回と、水害時対応の訓練を1回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		初回面談やアセスメント時に服薬や発作等聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	初回面談やアセスメント時にアレルギーの聞き取りを行っている。調理イベントでアレルギーの物が含まれないよう対策をしている。	アレルギーのある児童は把握している。医師の指示書等はないが、保護者からの対応方法は都度確認をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		計画作成し、必要な措置をとっている。安全管理の元支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に子供の安全管理についてお伝えをしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		過去のヒヤリハットなどいつでも振り返ることができるよう共有キャビネットに保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待については研修を行い、自己評価チェックも行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在身体拘束を行うに至る利用者はいない。身体拘束について行う際は、必ず保護者の事前説明了解を得る決まりになっている。	